



まつ お祭りで「獅子舞」が家々を回るの、どうしてなの

その家の厄除けのために、悪いことが起こらないようにいのる

日本各地には、古くから続いている、いろいろなお祭りがあります。祭りには、はなやかにかざりたてた山車が出たり、笛やたいこに合わせて獅子舞が踊ったり、とてもにぎやかです。お祭りになると、気分がうきうきして、楽しいですね。

獅子舞は、獅子頭をかぶって舞う日本の民俗芸能です。獅子頭は、オスの獅子の頭をかたどったものですが、この獅子は、現実の動物ではなく、空想上の動物で、不思議な力を持つとされ、人々の信仰の対象となっています。

人々は、五穀豊穰（穀物が豊かに実るように）、厄除け（災難をとりはらったり、防いだりする）、悪魔払い（悪魔を追い払う）、無病息災（悪い病気などにかからないで無事であること）、雨乞い（日照りのときに雨が降るようにいのる）などのために獅子舞を舞いました。

この獅子舞が町内を回り、家々を訪問するのは、その家に悪いことが起こらないようにいのるためです。土足で家の中に上がりこむ獅子舞もありますが、この獅子舞が座敷に残したどろを大事にするところもあります。

ひとり立ちと二人立ちの獅子舞

獅子舞は、一人で舞うもの（一人立ち）と、二人で舞うもの（二人立ち）があります。一人立ちは、一人で1頭の獅子になり、多くの場合、おなかに小さなたいこをつけて、打ちながら舞います。二人立ちは、一人が獅子の頭部と前足、もう一人がおしり部分と後ろ足を受けもって、舞います。（監修・田代 脩）

